

第2 県民の日常生活、生活意識などについて

1 日常生活について

(1) 生活環境について

生活環境満足度(問1)

問1 あなたは、今住んでいる地域の生活環境についてどの程度満足していますか？
以下の項目のそれぞれについて、お選びください。
(項目それぞれ1つずつに、印をおつけください。)

		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	満足計	不満計	前回調査		
										満足計	不満計	
自然環境	1 周辺の自然環境	3.6	42.8		22.3	10.5	3.7	5.1	58.4	14.2	59.3	14.1
	2 公園、広場、緑地	8.9	32.4		28.9	17.8	5.2	6.8	41.3	23.0	41.3	24.3
公共機関	3 小・中・高校などの教育機関	9.5	30.8		37.6	11.3	3.3	7.5	40.3	14.6	40.0	14.8
	4 公民館・図書館・体育館などの公共施設	10.1	30.5		28.7	18.1	6.1	6.5	40.6	24.2	40.1	25.4
	5 病院・診療所などの医療施設	9.7	30.0		26.5	19.6	8.5	5.7	39.7	28.1	41.3	26.8
	6 行政機関・郵便局・金融機関などの施設	3.6	34.6		28.2	14.3	5.1	6.4	46.0	19.4	51.2	16.8
働く・暮らす	7 就職・転職などの雇用環境	3.1	34.8		30.4	23.0		7.4	4.4	53.4	4.0	57.6
	8 住宅の質・地代・ローン・家賃などの住宅環境	3.0	11.5		45.9	22.3	9.9	7.4	14.5	32.2	16.8	31.7
	9 近隣・地域社会とのかかわり	6.0	24.3		47.7	11.4	3.4	7.2	30.3	14.8	34.0	15.8
交通	10 買い物・通勤・通学時の公共交通の便利さ	10.2	28.9		21.3	21.7	12.9	5.0	39.1	34.6	40.0	36.0
	11 道路の整備状況	8.1	30.0		26.6	19.9	9.7	5.7	38.1	29.6	36.4	33.9
安全	12 交通事故防止への安全対策	2.9	19.7		44.7	19.7	7.0	6.0	22.6	26.7	21.6	28.7
	13 防犯などの安全対策	3.6	15.5		49.4	21.0	5.8	6.3	17.5	26.8	16.9	29.7
	14 台風・集中豪雨など自然災害への防災対策	2.2	14.9		48.9	20.9	7.2	5.9	17.1	28.1	19.1	27.6
	15 環境(大気・水などの保全)の対策	3.0	19.5		48.4	16.3	5.6	7.2	22.5	21.9	25.7	23.0
インフラ	16 生鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ	14.3	40.7		24.8	10.5	3.9	5.8	55.0	14.4	59.5	12.9
	17 水道など生活用水対策	3.1	38.5		26.1	8.5	3.4	5.7	56.3	11.9	55.4	12.9
	18 し尿・下水・ごみ・廃棄物などの処理状況	5.8	32.6		28.3	14.9	6.1	5.6	45.1	21.0	43.1	23.4
	19 インターネットの利用環境	4.3	14.7		53.8	11.5	5.8	9.9	19.0	17.3	12.5	19.7
福祉・娯楽	20 保育所など子育て支援のための施設	6.2	24.4		40.7	15.4	5.5	7.8	30.6	20.9	30.3	20.8
	21 老人ホームなどの福祉施設	4.9	17.0		48.7	16.9	6.4	6.1	21.9	23.3	18.3	27.9
	22 障害者、高齢者なども利用しやすい施設(バリアフリー施設)	1.8	10.8		49.0	21.7	9.6	7.1	12.6	31.3	10.9	36.9
	23 余暇を楽しむための娯楽・レジャー施設	8.0	12.6		36.0	27.1	14.6	6.5	15.6	41.9	15.2	41.9

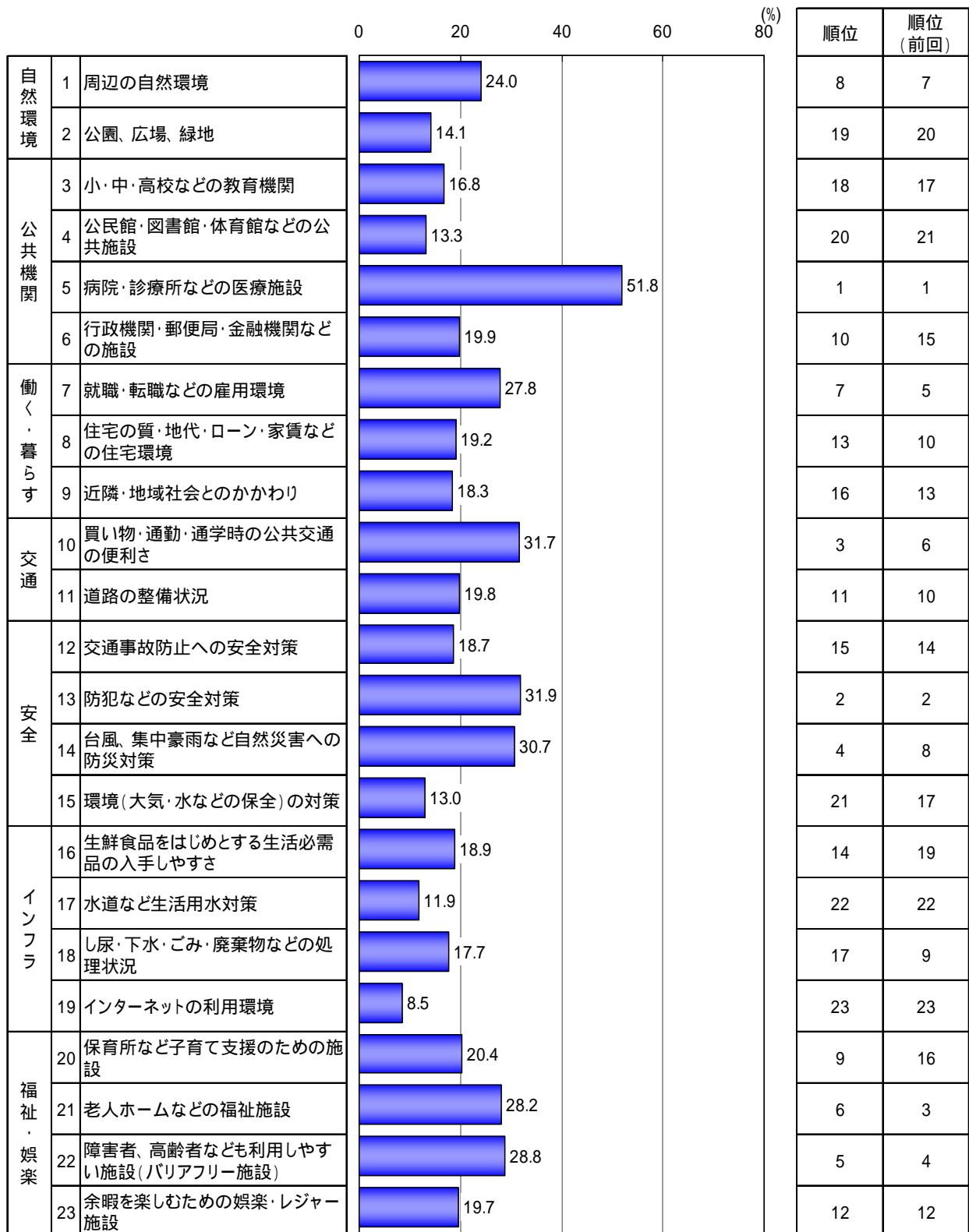
「前回調査」は、平成15年度の調査結果

県民の生活環境に関する23項目について満足度をたずねた。

- ・満足度の高い上位3項目は、「周辺の自然環境」(58.4%)、「水道など生活用水対策」(56.3%)、「生鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ」(55.0%)
- ・不満度の高い上位3項目は、「就職・転職などの雇用環境」(53.4%)、「余暇を楽しむための娯楽・レジャー施設」(41.9%)、「買い物・通勤・通学時の公共交通の便利さ」(34.6%)
- ・“自然環境”や“公共機関”、“交通”、“インフラ”のカテゴリで概ね満足度が不満度を上回る。
- ・“働く・暮らす”や“安全”、“福祉・娯楽”のカテゴリで概ね不満度が満足度を上回る。
- ・前回調査と満足度の順位に大きな変動はなく、不満度については前回と変化なし。
- ・前回調査から満足度が高くなった上位項目は、「インターネットの利用環境」(満足+6.5%、不満-2.4%)、「老人ホームなどの福祉施設」(満足+3.6%、不満-4.6%)、「し尿・下水・ごみ・廃棄物などの処理状況」(満足+2.0%、不満+2.4%)
- ・前回調査から不満度が高くなった上位項目は、「行政機関・郵便局・金融機関などの施設」(満足-5.2%、不満+2.6%)、「生鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ」(満足-4.5%、不満+1.5%)

生活環境重要度（問2）

問2 また、1～23のうち、今後のあなたの生活にとって、より重要になってくると思われる項目について、お選びください。
（7つまで 印をおつけください。）

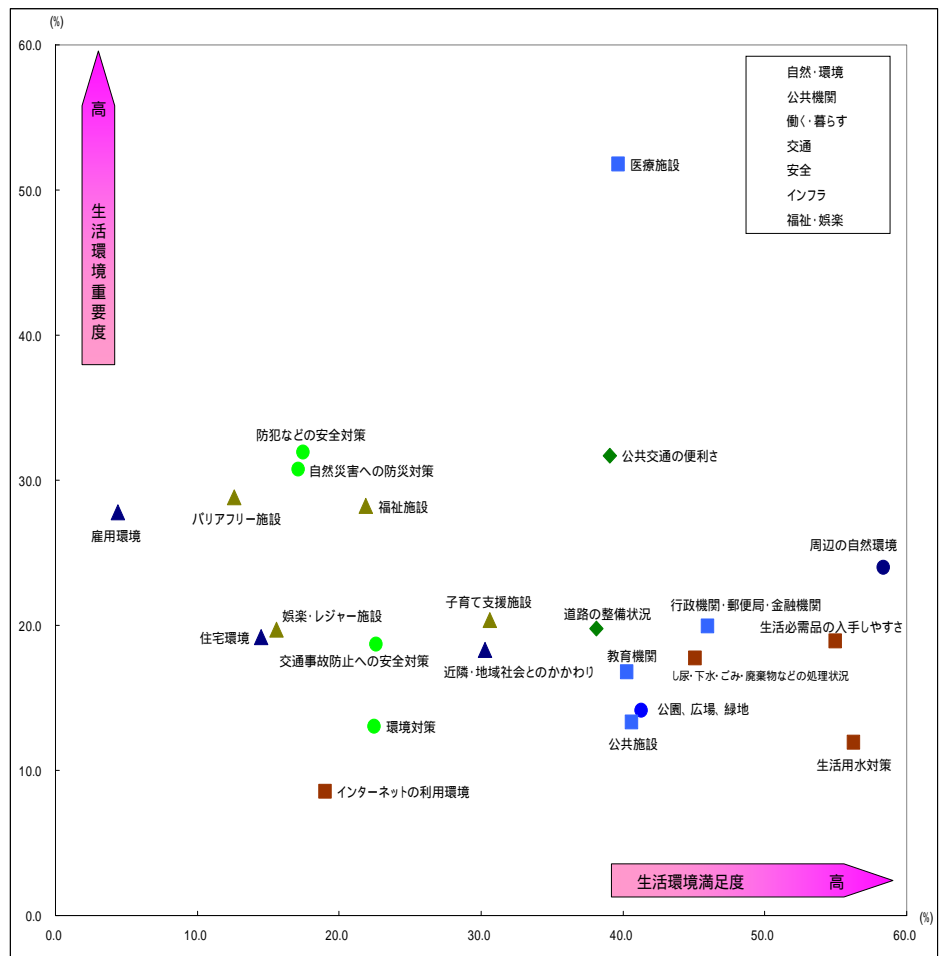
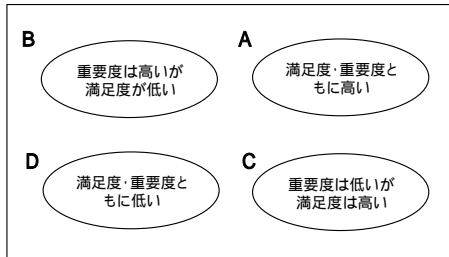


「前回」は、平成15年度の調査における順位

県民の生活環境に関する 23 項目について今後の重要度をたずねた。

- ・ 「病院・診療所などの医療施設」が 51.8%と最も多く、特に重要度が高い。
- ・ 「防犯などの安全対策」(31.9%)、「買い物・通勤・通学時の公共交通の便利さ」(31.7%)、「台風、集中豪雨など自然災害への防災対策」(30.7%)がこれに続き、前回調査より順位も上昇している。
- ・ 以下、「障害者、高齢者なども利用しやすい施設(バリアフリー施設)」(28.8%)、「老人ホームなどの福祉施設」(28.2%)、「就職・転職などの雇用環境」(27.8%)、「周辺の自然環境」(24.0%)、「保育所など子育て支援のための施設」(20.4%)などが続く。
- ・ 前回調査よりも重要度の順位の上昇幅が大きかった上位項目は、「保育所など子育て支援のための施設」(16位 9位)、「行政機関・郵便局・金融機関などの施設」(15位 10位)、「生鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ」(19位 14位)である。
- ・ 前回調査よりも重要度の順位の低下幅が大きかった上位項目は、「し尿・下水・ごみ・廃棄物などの処理状況」(9位 17位)、「環境(大気・水などの保全)の対策」(17位 21位)、「老人ホームなどの福祉施設」(3位 6位)、「住宅の質・地代・ローン・家賃などの住宅環境」(10位 13位)、「近隣・地域社会とのかかわり」(13位 16位)である。

生活環境について（問1/問2）(i)重要度と満足度の関連



日常の生活環境での満足度と今後の重要度の関連を示す。

【A：満足度・重要度ともに高い項目】

- ・ 「医療施設」、「公共交通の便利さ」
- ・ 「医療施設」については重要度が非常に高い。

【B：重要度は高いが満足度が低い項目】

- ・ 重要度が高いにもかかわらず満足度が低く、最優先で充実が求められている分野。
- ・ 「就職・転職などの雇用環境」、「防犯などの安全対策」、「台風、集中豪雨など自然災害への防災対策」、「障害者、高齢者なども利用しやすい施設（パリアフリー施設）」

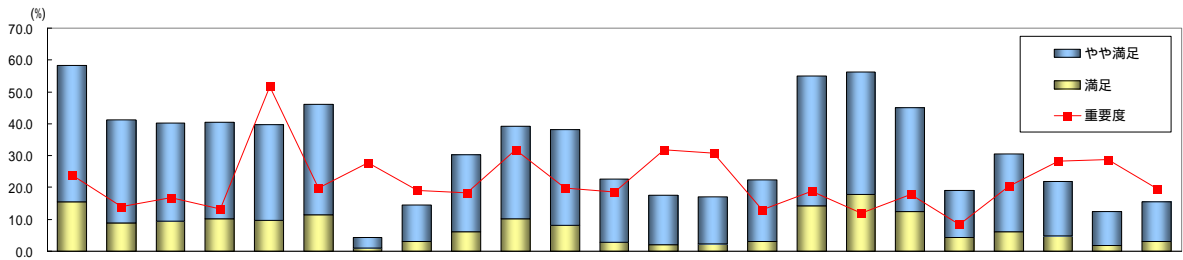
【C：重要度は低いが満足度が高い項目】

- ・ 今後、場合によっては他の分野へ力点を移していくことを検討する必要がある分野。
- ・ 「公園、広場、緑地」、「小・中・高校などの教育機関」、「公民館・図書館・体育館などの公共施設」、「生鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ」、「水道など生活用水対策」、「し尿・下水・ごみ・廃棄物などの処理状況」

【D：満足度・重要度ともに低い項目】

「住宅の質・地代・ローン・家賃などの住宅環境」、「近隣・地域社会とのかかわり」、「交通事故防止への安全対策」、「環境（大気・水などの保全）の対策」、「インターネットの利用環境」、「余暇を楽しむための娯楽・レジャー施設」

生活環境について（問1/問2）(ii)重要度と満足度のギャップ



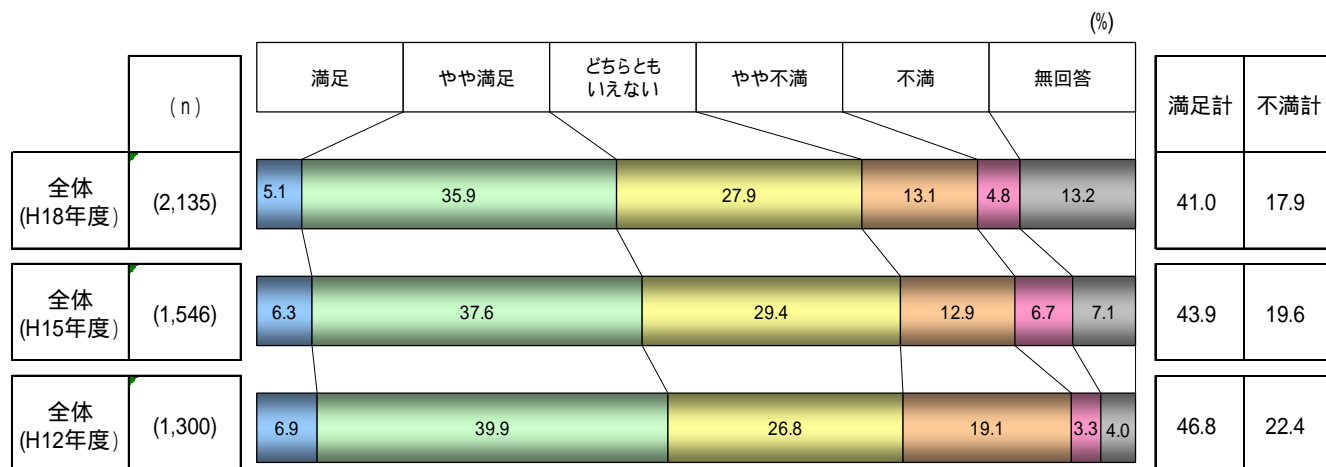
(n)	自然・環境		公共機関				働く・暮らす			交通		安全				インフラ			福祉・娯楽				
	1 周辺の自然環境	2 公園、広場、緑地	3 小・中・高校などの教育機関	4 設 公民館・図書館・体育館などの公共施設	5 病院・診療所などの医療施設	6 設 行政機関・郵便局・金融機関などの施設	7 就職・転職などの雇用環境	8 住宅の質・地代・ローン・家賃などの住宅環境	9 近隣・地域社会とのかかわり	10 利 買物・通勤・通学時の公共交通の便利さ	11 道路の整備状況	12 交通事故防止への安全対策	13 防犯などの安全対策	14 対 台風、集中豪雨など自然災害への防災対策	15 環境（大気・水などの保全）の対策	16 生 鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ	17 水道など生活用水対策	18 状 し尿・下水・ごみ・廃棄物などの処理状況	19 イン ターネットの利用環境	20 保 育所など子育て支援のための施設	21 老 人ホームなどの福祉施設	22 設 障害者、高齢者なども利用しやすい施設（バリアフリー施設）	23 設 余暇を楽しむための娯楽・レジャー施設
満足計 (2,135)	58.4	41.3	40.3	40.6	39.7	46.0	4.4	14.5	30.3	39.1	38.1	22.6	17.5	17.1	22.5	55.0	56.3	45.1	19.0	30.6	21.9	12.6	15.6
満足 (2,135)	15.6	8.9	9.5	10.1	9.7	11.4	1.1	3.0	6.0	10.2	8.1	2.9	2.0	2.2	3.0	14.3	17.8	12.5	4.3	6.2	4.9	1.8	3.0
やや満足 (2,135)	42.8	32.4	30.8	30.5	30.0	34.6	3.3	11.5	24.3	28.9	30.0	19.7	15.5	14.9	19.5	40.7	38.5	32.6	14.7	24.4	17.0	10.8	12.6
重要度 (2,135)	24.0	14.1	16.8	13.3	51.8	19.9	27.8	19.2	18.3	31.7	19.8	18.7	31.9	30.7	13.0	18.9	11.9	17.7	8.5	20.4	28.2	28.8	19.7
ギャップ (2,135)	34.4	27.2	23.5	27.3	-12.1	26.1	-23.4	-4.7	12.0	7.4	18.3	3.9	-14.4	-13.6	9.5	36.1	44.4	27.4	10.5	10.2	-6.3	-16.2	-4.1

現状での満足度と今後の重要度のギャップをみた。

- ・ 満足度が重要度を上回る上位3項目は、「水道など生活用水対策」(44.4%)、「生鮮食品をはじめとする生活必需品の入手しやすさ」(36.1%)、「周辺の自然環境」(34.4%)
- ・ 「し尿・下水・ごみ・廃棄物などの処理状況」(27.4%)、「公民館・図書館・体育館などの公共施設」(27.3%)、「公園、広場、緑地」(27.2%)、「行政機関・郵便局・金融機関などの施設」(26.1%)、「小・中・高校などの教育機関」(23.5%)なども比較的大きく満足度が重要度を上回る。
- ・ 重要度と比べ満足度が低い上位3項目は、「就職・転職などの雇用環境」(23.4%)、「障害者、高齢者なども利用しやすい施設（バリアフリー施設）」(16.2%)、「防犯などの安全対策」(14.4%)
- ・ 「台風、集中豪雨など自然災害への防災対策」(13.6%)、「病院・診療所などの医療施設」(12.1%)なども比較的、重要度と比べ満足度が低い。
- ・ 地域別では、対馬地域で「周辺の自然環境」の満足度が重要度を大きく上回る。(62.5%)
- ・ 五島地域(33.7%)、壱岐地域(33.3%)、対馬地域(50.0%)といった離島部で「医療施設」の満足度が重要度を大きく下回る。
- ・ 年齢別では、20～50歳代で「雇用環境」、20～40歳代で「住宅環境」の満足度が重要度を大きく下回る。
- ・ 「子育て支援施設」では20～30歳代で満足度が重要度を大きく下回る。

生活環境総合満足度（問3）

問3 現在の生活環境を全体的にみて、あなたはどの程度満足していますか？
（1つ 印をおつけください。）



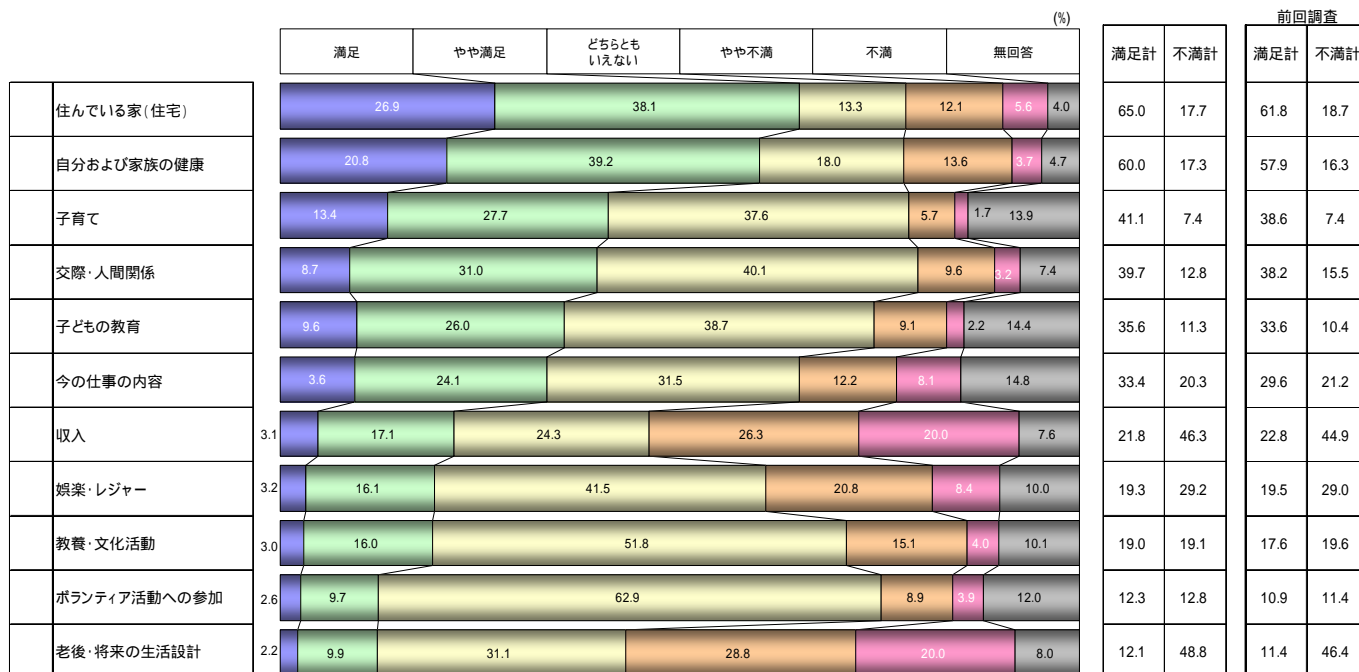
「満足」と「やや満足」の計が41.0%、「不満」と「やや不満」の計が17.9%で、満足度が不満度の約2.2倍。

H15年度調査、H12年度調査の結果と比較すると、満足度、不満度とも低下傾向である。

(2) 現在の日常生活について

日常生活満足度(問1)

問1 あなたは、現在の日常生活にどの程度満足していますか？
以下の項目それぞれについて、お選びください。
(項目それぞれ1つずつに、印をおつけください。)



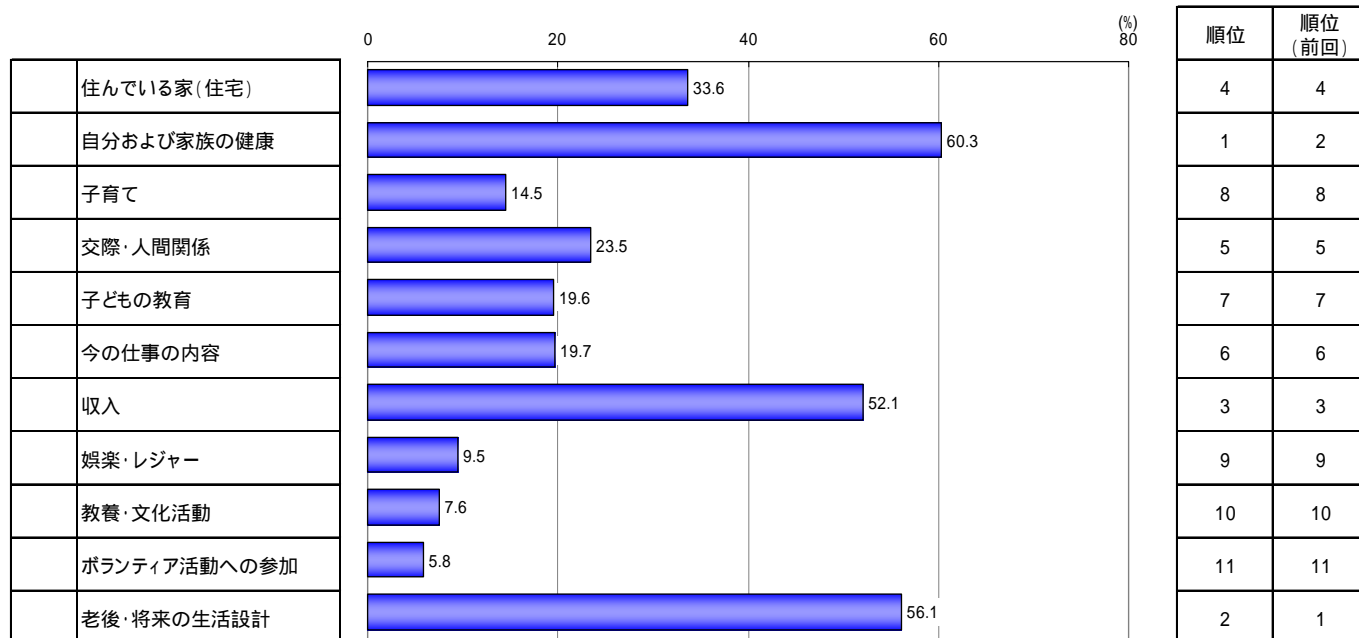
「前回調査」は、平成15年度の調査結果

日常生活を11項目の要素に分け、その満足度をたずねた。

- ・満足度が最も高かったのは「住んでいる家(住宅)」(65.0%)で、「自分および家族の健康」(60.0%)とともに満足度が6割を超えている。
- ・その他の項目では、「子育て」(41.1%)、「交際・人間関係」(39.7%)などで比較的満足度が高い。
- ・不満が多かった項目は「老後・将来の生活設計」(48.8%)、「収入」(46.3%)で、不満度が4割を超えている。
- ・前回調査と比較して、満足度および不満度の順位・数値に大きな変化は見られない。

日常生活重要度（問2）

問2 また、以下の項目のうち、今後のあなたの生活にとって、より重要になってくると思われる項目について、お選びください。
（4つまで 印をおつけください。）

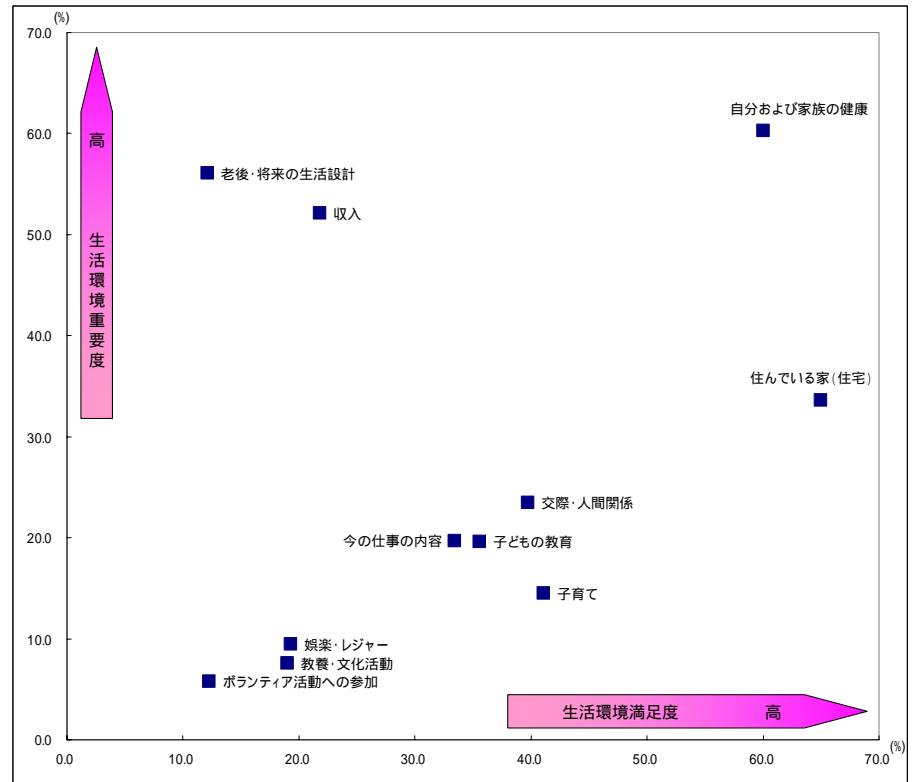
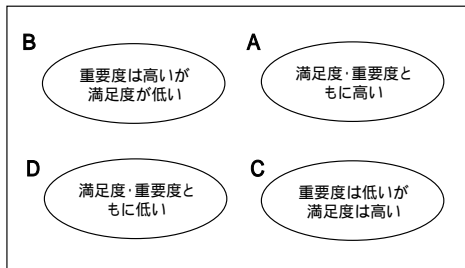


「前回」は、平成15年度の調査における順位

日常生活を11項目の要素に分け、今後の重要度をたずねた。

- ・ 「自分および家族の健康」(60.3%)、「老後の生活設計」(56.1%)、「収入」(52.1%)が突出して高い。
- ・ 次いで「住んでいる家(住宅)」(33.6%)、「交際・人間関係」(23.5%)、「今の仕事の内容」(19.7%)、「子どもの教育」(19.6%)、「子育て」(14.5%)の順。
- ・ 前回調査と比べて、重要度上位2項目以外は変化が見られなかった。

日常生活について（問1/問2）(i)重要度と満足度の関連



日常生活における満足度と今後の重要度の関連を示す。

【A：満足度・重要度ともに高い項目】

- ・ 「自分および家族の健康」、「住んでいる家（住宅）」
- ・ 「自分および家族の健康」については、満足度、重要度ともに非常に高い。

【B：重要度は高いが満足度が低い項目】

- ・ 最優先課題となっている分野。
- ・ 「老後・将来の生活設計」、「収入」

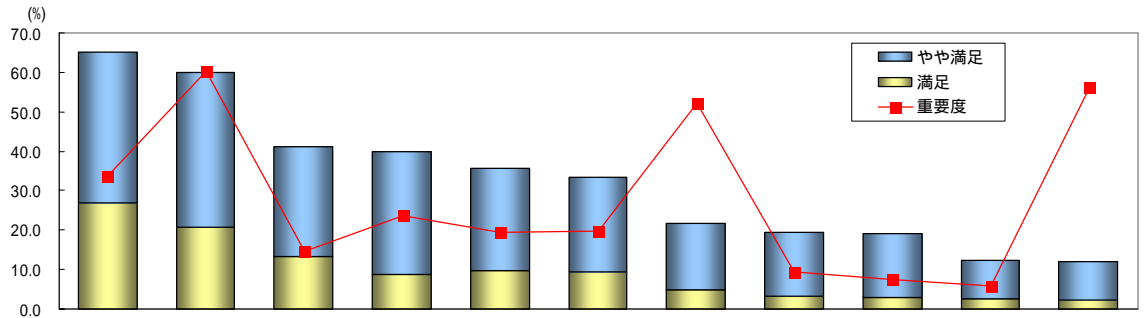
【C：重要度は低いが満足度が低い項目】

- ・ 「交際、人間関係」、「今の仕事の内容」、「子どもの教育」、「子育て」

【D：満足度・重要度ともに低い項目】

- ・ 「娯楽・レジャー」、「教養・文化活動」、「ボランティア活動への参加」

日常生活について（問1/問2）(ii)重要度と満足度のギャップ



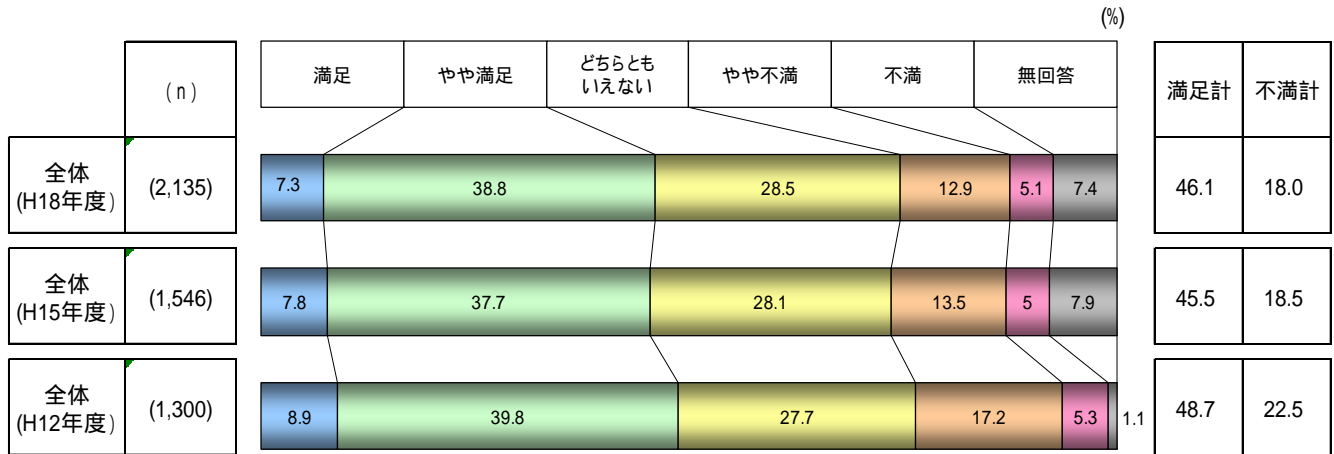
(n)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		住んでいる家 (住宅)	自分および家族の健康	子育て	交際・人間関係	子どもの教育	今の仕事の内容	収入	娯楽・レジャー	教養・文化活動	ボランティア活動への参加	老後・将来の生活設計
満足計	(2,135)	65.0	60.0	41.1	39.7	35.6	33.4	21.8	19.3	19.0	12.3	12.1
満足	(2,135)	26.9	20.8	13.4	8.7	9.6	9.3	4.7	3.2	3.0	2.6	2.2
やや満足	(2,135)	38.1	39.2	27.7	31.0	26.0	24.1	17.1	16.1	16.0	9.7	9.9
重要度	(2,135)	33.6	60.3	14.5	23.5	19.6	19.7	52.1	9.5	7.6	5.8	56.1
ギャップ	(2,135)	31.4	-0.3	26.6	16.2	16.0	13.7	-30.3	9.8	11.4	6.5	-44.0

現状での満足度と今後の重要度のギャップをみた。

- ・「住んでいる家」(31.4%)、「子育て」(26.6%)で現状の満足度が重要度を大きく上回る。
- ・「交際・人間関係」(16.2%)、「子どもの教育」(16.0%)、「今の仕事の内容」(13.7%)、「教養・文化活動」(11.4%)なども満足度が重要度を上回る。
- ・「老後・将来の生活設計」(44.0%)、「収入」(30.3%)は、重要度に対し満足度が非常に低い。
- ・地域別では、「老後・将来の生活設計」は壱岐地域(35.6%)、対馬地域(35.4%)で比較的ギャップ幅が小さい。
- ・「収入」は県北地域(37.7%)のギャップが最も大きい。
- ・年齢別では、20歳代(13.5%)で「子育て」の満足度が重要度を下回っている。
- ・40歳代(57.4%)、50歳代(59.9%)で「老後・将来の生活設計」の満足度が重要度を大きく下回る。
- ・40歳代(40.1%)で「収入」の満足度と重要度のギャップが最も大きい。

日常生活総合満足度（問3）

問3 現在の日常生活を全体的にみて、あなたはどの程度満足していますか？
（1つ 印をおつけください。）



「前回」は、平成15年度の調査結果

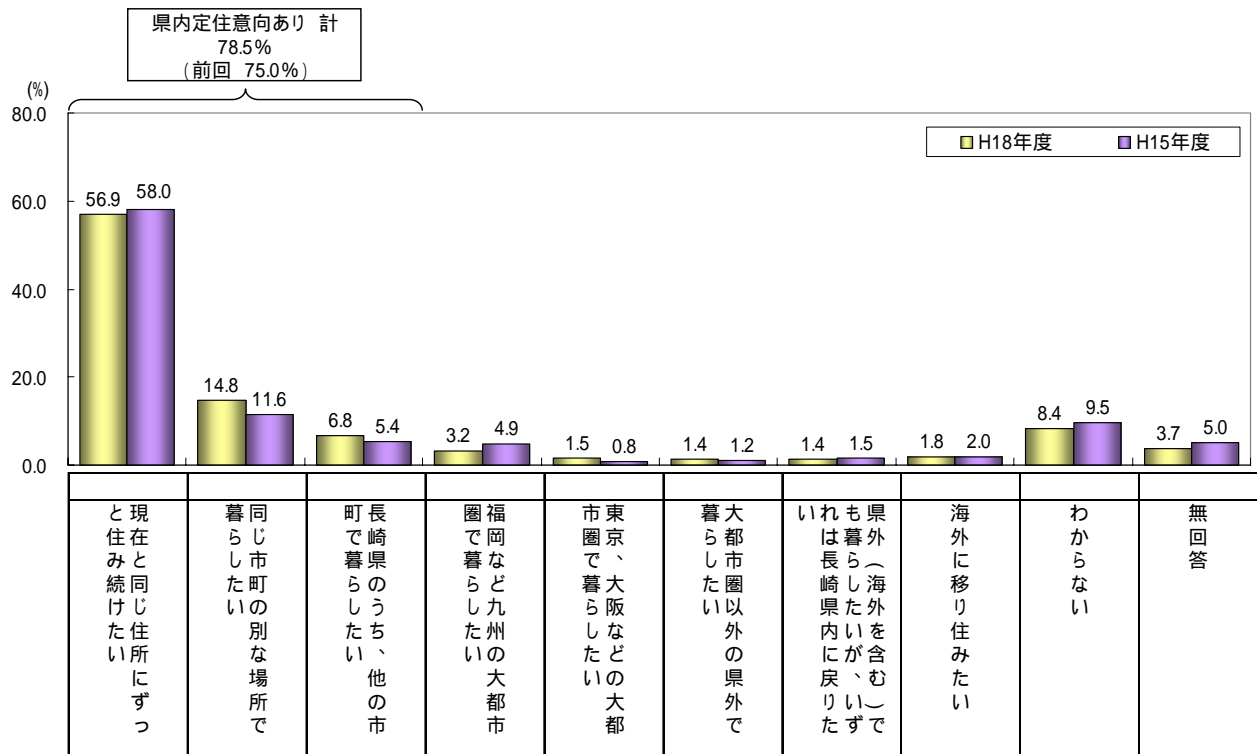
「満足」と「やや満足」の計が46.1%、「不満」と「やや不満」の計が18.0%で、満足度が不満度の約2.5倍。

H15年度調査、H12年度調査の結果と比較すると、不満度は低下傾向である。

(3) 今後の定住意向について

定住意向(問1)

問1 今後も現在の住所で暮らしたいと思えますか？(1つ 印をおつけください。)



前は、平成 15 年度の調査結果

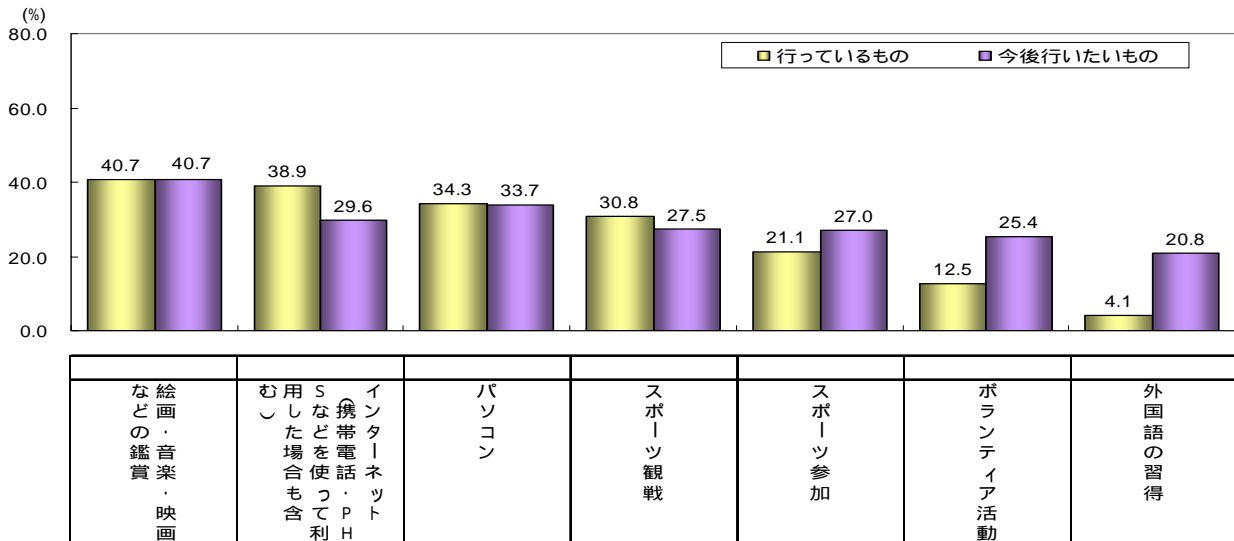
78.5%が県内での定住意向を示す。

一方、「九州の大都市圏で暮らしたい」(3.2%)、「東京・大阪などの大都市圏で暮らしたい」(1.5%)、「大都市圏以外の県外で暮らしたい」(1.4%) など、県外への移住希望者は非常に少ない。

2 生活意識と将来生活について

現在行っている活動/今後行いたい活動(問1)

- 問1 (1) あなたは現在、以下のような活動を行っていますか？(はいいくつでもお選びください。)
 (2) 現在行っているかどうかにかかわらず、あなたが今後行いたいものは何ですか？
 (はいいくつでもお選びください。)



【 絵画・音楽・映画などの鑑賞】

- ・全体では、現在行っている率は40.7%、今後の意向も40.7%
- ・地域別では、離島地域で現在行っている率が低く、今後行いたい意向が高い。
- ・性別では、現在行っている率、今後の意向ともに女性の方がやや高い。
- ・年齢別では、20歳代で現在行っている率、今後の意向ともに最も高く5割を超える。

【 インターネット】

- ・全体では、現在行っている率が38.9%、今後の意向は29.6%
- ・地域別では、現在行っている率が、全ての地域で前回調査と比べ大幅に上昇している。
- ・性別では、男性の方が女性よりも現在行っている率、今後の意向ともにやや高い。
- ・年齢別では、20～30歳代で現在行っている率が7割を超える。

【 パソコン】

- ・全体では、現在行っている率は34.3%、今後の意向は33.7%
- ・地域別では、現在行っている率が、対馬地域(47.9%)、壱岐地域(44.4%)で高い。
- ・性別では、男性で現在行っている率が高い。
- ・年齢別では、現在行っている率が20～40歳代で、今後の意向が20歳代(50.3%)で高い。

【 スポーツ観戦】

- ・全体では、現在行っている率は30.8%、今後の意向は27.5%
- ・地域別では、対馬地域で現在行っている率(20.8%)が低く、今後の意向(37.5%)が高い。
- ・性別では、女性より男性の方が現在行っている率、今後の意向ともに高い。
- ・年齢別では、20歳代(19.5%)で現在行っている率が低い。

【 スポーツ参加】

- ・全体では、現在行っている率は21.1%、今後の意向は27.0%
- ・地域別では、壱岐地域で現在行っている率が33.3%と高い。
- ・性別では、男性の方が女性よりも現在行っている率、今後の意向ともに高い。
- ・年齢別では、60歳代(24.8%)で現在行っている率が最も高く、年代が若くなるほど今後の意向が高い。

【 ボランティア活動】

- ・全体では、現在行っている率は12.5%、今後の意向は25.4%
- ・概ね年代が高いほど現在行っている率が高く、全ての年代で今後の意向が高い。

【 外国語の習得】

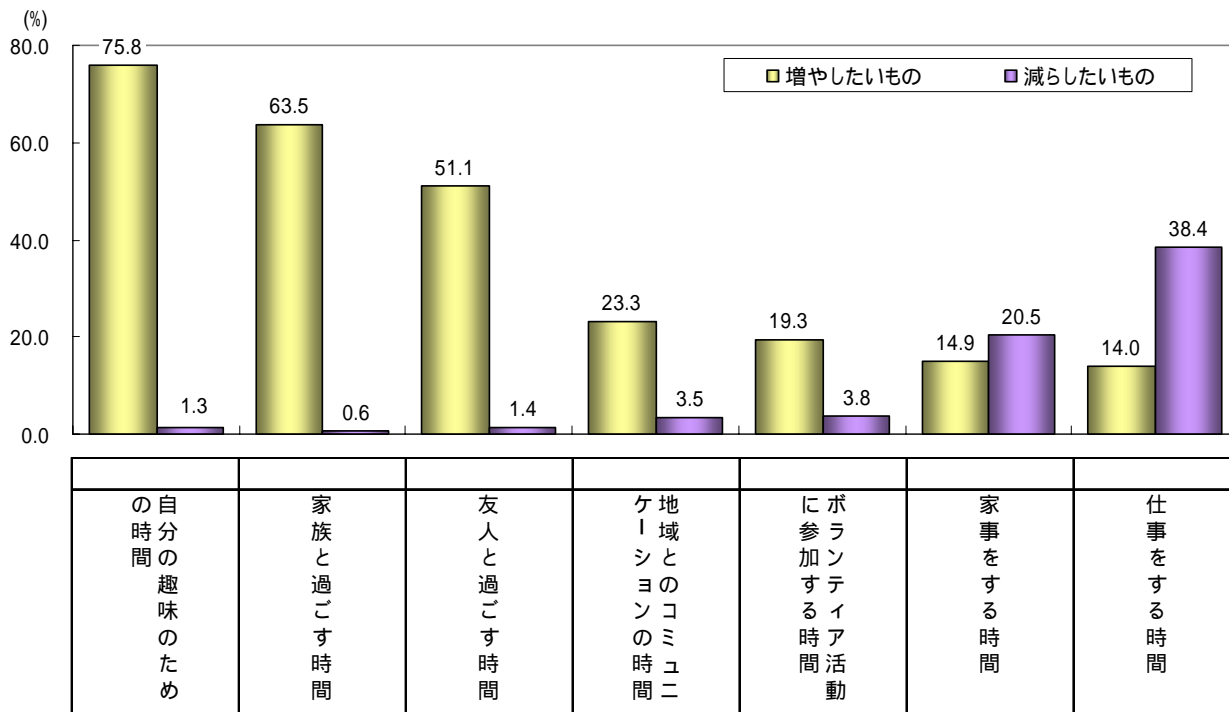
- ・全体では、現在行っている率は4.1%と非常に低く、今後の意向は20.8%。
- ・地域別では、島原半島地域を除き今後の意向が2割を超える。
- ・年齢別では20歳代(45.0%)、30歳代(33.8%)で今後の意向が高い。

今後増やしたい時間 / 今後減らしたい時間 (問2)

問2 あなたは、今後の生活でどのような時間を重視したいと思いますか？

(1) 今後増やしたいと思うもの (はいいくつでもお選びください。)

(2) 逆に減らしたいと思うもの (はいいくつでもお選びください。)



今後増やしたいものは、「自分の趣味のための時間」(75.8%)、「家族と過ごす時間」(63.5%)、「友人と過ごす時間」(51.1%)が上位3項目で、プライベートな時間を増やしたいとする意向が高い。

逆に減らしたいものは、「仕事をする時間」(38.4%)、「家事をする時間」(20.5%)と労働時間を減らしたいとする意向が高い。

長崎県の将来像（問3）

問3 あなたは、将来長崎県がどのような県になることが望ましいと思いますか？
あなたのお考えになることをどのようなことでも結構ですので具体的にご記入ください。

長崎県の将来像について、どのような県になることが望ましいかを自由記述形式でたずねたところ、概ね以下のような回答を得た。

【医療・福祉】

- ・「医療施設の充実」、「高齢者福祉の充実」、「子どもや高齢者に優しい県」、「バリアフリー化の推進」、「医療費・介護負担の軽減」など

【産業・雇用】

- ・「若者の雇用の場確保」、「高齢者の雇用の場確保」、「所得水準の向上」、「観光の振興」、「農林水産業の振興」、「企業誘致」など

【観光の推進】

- ・「自然や歴史文化を生かした観光の推進」、「リピーター確保対策」、「積極的なPR」、「アジアからの観光客誘致」など

【教育】

- ・「道徳教育、心の教育」、「学力の向上」、「教職員の資質向上」、「家庭教育の重要性」など

【自然・環境】

- ・「自然環境の保護」、「ごみのないまち」、「環境に配慮したまちづくり」、「住みやすい、住みたいまち」、「次世代のための環境保全政策」、「水資源の確保」など

【交通体系】

- ・「新幹線の整備」、「JR路線の充実（待ち時間短縮など）」、「高速道路・基幹道路の整備」、「生活道路の整備」、「渋滞の緩和」、「長崎空港の拡充（国際化など）」、「路面電車の延伸」など

【国際化】

- ・「アジアとの交流促進」、「子ども達の国際交流推進」、「国際文化都市」、「海外への長崎県PR」、「中国東南アジアの中継点」など

【まちづくり】

- ・「犯罪・事故のない安全・安心なまちづくり」、「景観の保全」、「自然や歴史文化を活かしたまちづくり」、「レジャー・娯楽施設の整備」、「子供から高齢者まで優しいまちづくり」など

【離島活性化】

- ・「離島と本土を結ぶ交通網の充実」、「運賃の低廉化」、「離島への産業誘致」など

【子育て】

- ・「子育ての負担軽減」、「子育て環境の充実」、「子育て施設（保育所等）の充実」など

【行政のスリム化等】

- ・「税金の無駄遣いをなくす」、「無駄な公共事業の削減」、「財政の健全化」、「県職員の削減」、「職員の意識改革」など